

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2014年2月19日

仙台・岡田児童館 「うごく絵を作る」

2日前まで豪雪で交通機関が麻痺状態。心配していた低気圧が太平洋方面にずれ、なんとか無事岡田児童館まで時刻通りたどり着くことができました。

今回は、厚紙と割りピンを使って「動く絵をつくる」のが目標。説明と手順のイラストを見て、作品づくりはスタートします。下描きは、重なるところもプラスして描くこと。割りピンを刺すことを考えて、作品の幅を考える。などのいくつかの約束事も、理解度が高く、みんなの成長ぶりが垣間見られた気持ちです。線にそってハサミを動かす。千枚通しを使ってブスッと穴を目的の場所に開ける。そんなベーシックな作業のうえに、いっぱい想像力が広がってゆきます。

可愛い動物たち。6本の足、動く羽がカッコイイ昆虫たち。なんと「ふなっしー」まで登場します。

自分の背丈ほどありそうな、くねくね曲がるなが〜い作品をつくった男の子。

桜の花も立派な幹、枝に咲きほこっていましたね。

たくさんの細長い紙の両はじを割りピンで留め、ヘルメットにも仮面にもなりそうな作品をつくった女の子は、一枚ずつ絵柄がちがう懲りようでした。

平たいだけのじゃつままないと思った子たちは、ポンポン、モールでつくったりボンなども貼付け、工夫もいっぱいです。

先の尖った千枚通しも、危なげなく、道具としてちゃんと使えるようになっていく岡田児童館の子どもたち。みんなの一年の豊かさに、うらやましさを覚えてしまう大人たちなのでした。

